

ご使用に際しては、この説明文書を必ず読んでください。
また、必要なときに読めるよう大切に保存してください。

第2類医薬品

浜井回春堂感冒薬 小児用

下線部：2008年7月追記



使用上の注意

☒ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください
(1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2)本剤又は他のかぜ薬・解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は次のいずれの医薬品も服用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気があらわれることがあります)
- 服用時は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3)本人又は家族がアレルギー体質の人。

- (4)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(5)次の症状のある人。
高熱、排尿困難
(6)次の診断を受けた人。
心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください
(1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
シ ョ ッ ク (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しき等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。

裏面へ続く

肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療をつけること。)
ぜんそく	

〔効能・効果〕

かぜの諸症状(頭痛、発熱、関節の痛み、筋肉の痛み、のどの痛み、悪寒、鼻みず、鼻づまり、くしゃみ)の緩和

〔成分・分量〕1日量(15mL中)

アセトアミノフェン ……………240mg
 マレイン酸クロルフェニラミン ……………2mg
 無水カフェイン ……………25mg
 人參流エキス ……………0.2mL
 (人參200mgに相当)
 ケイヒ流エキス……………0.17mL
 (ケイヒ170mgに相当)
 生姜流エキス ……………0.1mL
 (生姜100mgに相当)
 その他、添加物として白糖、クエン酸、塩化Na、
 L-グルタミン酸Na、D-ソルビトール、安息香酸
 Na、及び香料を含有する。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わります。)
- (4)使用期限の過ぎた製品は服用しないでください。

〔用法・用量〕

3歳以上	7歳未満	1回2.5mL
1歳以上	3歳未満	1回2.0mL
6ヵ月以上	1歳未満	1回1.5mL

- (2)5～6回服用しても症状がよくならない場合
 3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください
 □のかわき

1日3回食後および必要場合には、就寝前に更に次の1回量を服用してください。場合によっては、1日6回まで服用しても差し支えありませんが、この場合には原則として約4時間の間隔をおいて服用してください。
 (添付の計量コップをお使いください)

〔用法・用量に関する注意〕

- (1)6ヵ月未満の乳児には服用させないでください。
- (2)2歳未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。
- (3)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (4)定められた用法用量を守ってください。

〈お問い合わせ先〉本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気づきの点がございましたら、お問い合わせの薬局・薬店又は下記会社「相談窓口」までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

発売元 有限会社 浜井回春堂薬品
 広島県広島市中区堀川町3-1
 電話 (082)241-8781

製造販売元 松田薬品工業株式会社
 愛媛県松山市河野中須賀318
 電話 (089)994-1333

〔受付時間 8:30～17:00〕
 (土、日、祝日を除く)